

屋島活性化基本構想の改正案について(概要)

1 屋島活性化基本構想の位置付け

第7次高松市総合計画(2024~2031)

人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松

目標3

魅力ある資源をいかし、
都市の活力を創造するまち

政策2 地域活力の創造

▶ 施策 観光振興と交流の推進(施策3-2-2)

▶ 【主な取組事業】屋島活性化推進事業



屋島活性化基本構想を策定(H25.1)し、**屋島の活性化を図る事業を実施**

市長マニフェスト2023

文化芸術スポーツの振興、観光、景観
(創造性豊かなまち)

▶ 施策4 新しくできた屋島山上交流拠点施設「やしまーる」を活用して各種イベントなどを開催するとともに、屋島山上へのアクセスの向上について幅広く検討し、本市のシンボル屋島の再生をします。

▶ 【関連する事務事業】屋島活性化推進事業

目標値:屋島山上入込客数 **70万人**

上位計画等との整合・連携を図り、
世界に誇れる高松市のシンボルとなる屋島の再生・活性化を実現する

2 第一期構想の概要

平成25年1月に策定し、基本方針を踏まえた、44の具体的施策・事業を実施

課題

総合的課題

- ①屋島全体の自然環境、景観及び文化財の調査・把握・活用(未確認のものも含む)
- ②市民の屋島に対する価値の認識と愛着の醸成
- ③屋島の持つ魅力の顕在化と屋島の活性化

個別的課題

- ①廃屋撤去後の更地の利活用
- ②水族館の老朽化
- ③ドライブウェイを含む屋島山上へのアクセス
- ④ケーブル又はケーブル跡地、ケーブル跡施設の取扱い

共通課題

自然環境・景観等の保全
推進体制の整備・構築

基本方針

ア 貴重な自然環境や文化財の継続的かつ体系的な調査・研究と保全

イ 歴史・文化・信仰に富む屋島の再発見と活用

ウ 知的欲求を満たす「文化観光」の創造

エ 都市づくりと連動した景観の保全と再生

オ 屋島の有する特性・価値の次世代への継承

カ 実効性のある推進体制の整備・構築

活性化方策の方向性

- ①地形・地質・動植物等自然環境の調査研究と保存活用
- ②寺社・民俗・遺跡等の調査・研究と保存・活用
- ③名勝的価値の調査・研究
- ④各分野の学際的調査・研究
- ⑤各種調査・研究成果の体系的整理
- ⑥調査・研究成果の蓄積と情報発信システムの整備

- ①歴史・文化・信仰・生活・生産の魅力に関する情報の公開・交流・活用
- ②特性・価値等の多面的な情報の発信
- ③屋島を知ることを目的としたイベントの開催
- ④屋島に関連した文化的(歴史・伝統等)イベントの開催
- ⑤魅力ある資源としてのソフト・ハード面での活用
- ⑥沿革の分析・把握と成果の将来への活用

- ①屋島全体の特性・価値等のPR
- ②屋島を知り、学べる施設の整備
- ③観光施設・休養施設・便益施設等の充実
- ④周辺観光施設等との連携
- ⑤更地の有効的な活用
- ⑥アクセス環境の向上
- ⑦ケーブル施設等の利活用
- ⑧屋島を楽しむイベントの開催

- ①眺望ポイントの整備
- ②山容を望む場の確保
- ③屋島を望む景観の保全
- ④近傍公共的施設の活用

- ①子どもたちの屋島に接する機会の創出
- ②分かりやすい情報提供
- ③家族でくつろげる施設の整備等
- ④家族で参加できるイベントの開催

- ①調査・研究、保存・活用、管理・運営関係各機関ネットワーク構築
- ②屋島活性化方策推進体制の整備
- ③屋島に関わる人材の育成

具体的施策・事業

- ①古代山城屋嶋城跡城門遺構の整備
- ②天然記念物屋島の調査
- ⑩屋島の森保全活動
- ③⑩名勝についての調査・研究
- ③⑩史跡・天然記念物屋島保存管理計画の見直し
- ③⑩文化財の保存・整備・活用
- ③⑩史跡・天然記念物屋島基礎調査の実施
- ③⑩讃岐ジオパーク構想との連携

- ③古代山城サミットの開催
- ④現代源平屋島合戦絵巻の開催
- ⑫屋島に関する情報発信力の強化
- ⑬自然探訪・史跡巡り等歩く行事の開催
- ⑭探鳥会の開催

- ⑤瀬戸内国際芸術祭との連携(高松港周辺における屋島での展開事業)
- ⑥シンボルマーク等の作成
- ⑮観光ルートの開発・商品化・宣伝
- ⑯屋島のパンフレット・マップ等の作成
- ⑰⑱周辺観光施設等との連携割引制度等の創設
- ⑲定期シャトルバス路線の拡充
- ⑳ビジターセンター[ガイダンス施設]の整備
- ㉑便益施設等(史跡等案内板・東屋・ベンチ・トイレ)の整備
- ㉒北嶺の利活用
- ㉓展望・芝生公園の整備
- ㉔新屋島水族館等集客施設の充実
- ㉕山上駐車場の拡充
- ㉖近傍エリア臨時駐車場の確保
- ㉗登山道・遍路道等の整備




- ⑦高松市景観計画の策定(変更)※景観形成重点地区(屋島地区)の指定
- ⑧屋島陸上競技場の再整備
- ⑨市街地・多島美等景観ポイントの選定・公表
- ⑩屋島陸上競技場等公共施設内や鉄道駅舎内での写真・マップの展示
- ⑪眺望を遮る樹木の剪定・伐採

- ⑨遠足バス通行料の助成
- ⑩市民マラソン大会の開催
- ⑪屋島少年自然の家体験学習との連携
- ⑫遠足等コースの設定
- ⑬子ども講座の開催
- ⑭子ども向けパンフレット等の作成・活用
- ⑮屋島地域交流イベントの開催
- ⑯多目的広場の整備

- ⑪自然・歴史ガイドの育成
- ⑫推進組織の設置
- ⑬屋島活性化関係者会合の開催
- ⑭学術的調査・研究講座の開催

3 第一期構想の取組実績

① 主な取組成果

具体的施策・事業	詳細
<p>ア 貴重な自然環境や文化財の継続的かつ体系的な調査・研究と保全 ①古代山城屋嶋城跡城門遺構の整備</p>	<p>● H28.3～復元した屋嶋城跡城門遺構を公開</p> 
<p>イ 歴史・文化・信仰に富む屋島の再発見と活用 ⑫屋島に関する情報発信力の強化</p>	<p>● H26.2～屋島に関する情報ポータルサイト「屋島ナビ」を開設 R2.2～「屋島」の公式観光情報サイト all YASHIMAにリニューアル</p>
<p>ウ 知的欲求を満たす「文化観光」の創造 ⑬ビジターセンター〔ガイダンス施設〕の整備 ⑭新屋島水族館等集客施設の充実</p>	<p>● R4.8～やしまーるオープン ● R7.4～新屋島水族館改修工事開始</p>  
<p>エ 都市づくりと連動した景観の保全と再生 ⑮屋島陸上競技場の再整備</p>	<p>● H29.4～再整備した屋島陸上競技場を開場</p>
<p>オ 屋島の有する特性・価値の次世代への継承 ⑯屋島地域交流イベントの開催</p>	<p>● 天空ミュージック、さぬき満月まつり 屋島山上ちようちんカフェ等のイベント開催 (R7年度入込客数:1,847人(天空ミュージック) 約1,000人(さぬき満月まつり) 2,735人(屋島山上ちようちんカフェ))</p> 
<p>カ 実効性のある推進体制の整備・構築 ⑰屋島活性化関係者会合の開催</p>	<p>● H25.5～魅力ある屋島再生協議会を開催し、屋島活性化基本構想の進捗管理を行う</p>

その他、民間投資が生じた事例

- R3.10～「れいがん茶屋」を改装し、リニューアルオープン
- R4.4～「四国村」から「四国村ミュージアム」に改称し、リニューアルオープン(エントランス棟「おやねさん」の新設など)



3 第一期構想の取組実績

②第一期構想に掲げる事業の実施状況

※ ◎:完了事業、○:継続事業

第一期構想に掲げる44の具体的施策・事業の状況について、着手及び実施率は100%。実施状況では、完了事業が38件、継続事業が6件

No.	具体的施策・事業名	実施状況
1	古代山城屋嶋城跡城門遺構の整備	◎
2	天然記念物屋島の調査	◎
3	古代山城サミットの開催	◎
4	現代源平屋島合戦絵巻の開催	◎
5	瀬戸内国際芸術祭との連携(高松港周辺における屋島での展開事業)	◎
6	シンボルマーク等の作成	◎
7	高松市景観計画の策定(変更)※景観形成重点地区(屋島地区)の指定	◎
8	屋島陸上競技場の再整備	◎
9	遠足バス通行料の助成	◎
10	屋島の森保全活動	◎
11	自然・歴史ガイドの育成	◎
12	屋島に関する情報発信力の強化	◎
13	自然探訪・史跡巡り等歩く行事の開催	◎
14	探鳥会の開催	◎
15	観光ルートの開発・商品化・宣伝	◎
16	屋島のパンフレット・マップ等の作成	◎
17	周辺観光施設等との連携割引制度等の創設	◎
18	定期シャトルバス路線の拡充	◎
19	市街地・多島美等景観ポイントの選定・公表	◎
20	屋島陸上競技場等公共施設内や鉄道駅舎内での写真・マップの展示	◎
21	市民マラソン大会の開催	◎
22	屋島少年自然の家体験学習との連携	◎

No.	具体的施策・事業名	実施状況
23	遠足等コースの設定	◎
24	子ども講座の開催	◎
25	子ども向けパンフレット等の作成・活用	◎
26	屋島地域交流イベントの開催	◎
27	推進組織の設置	◎
28	屋島活性化関係者会合の開催	◎
29	学術的調査・研究講座の開催	◎
30	名勝についての調査・研究	◎
31	史跡・天然記念物屋島保存管理計画の見直し	○
32	ビジターセンター[ガイダンス施設]の整備	◎
33	便益施設等(史跡等案内板・東屋・ベンチ・トイレ)の整備	○
34	北嶺の利活用	◎
35	眺望を遮る樹木の剪定・伐採	◎
36	文化財の保存・整備・活用	◎
37	史跡・天然記念物屋島基礎調査の実施	◎
38	讃岐ジオパーク構想との連携	◎
39	展望・芝生公園の整備	◎
40	新屋島水族館等集客施設の充実	○
41	山上駐車場の拡充	○
42	近傍エリア臨時駐車場の確保	○
43	登山道・遍路道等の整備	○
44	多目的広場の整備	◎

4 屋島活性化基本構想の改正のポイント

屋島活性化基本構想(平成25年1月策定)

屋島の持続性のある活性化に向け、市民と一体となって、その特性や価値の保存と地域資源としての有効活用を図るために必要な基本方針や具体的方策を明らかにし、本市の施策・事業に反映させることを目的に策定。

現構想の策定から10年以上が経過する中で大きく変化した社会環境、観光ニーズ及び地域課題を踏まえ、来たる瀬戸内海国立公園指定100周年に向け、必要な見直しを行う

改正のポイント①

現在の屋島の状況整理

- 本市の観光動向や社会経済状況等の更新
- 最新の上位・関連計画における屋島の位置づけの再整理
- 現構想の基本方針は踏襲し、現状にあった屋島の課題設定

改正のポイント②

屋島活性化に向けた具体的取組の作成

- これまでに実施した施策・事業の棚卸しを行い、新たな取組等を整理・再構築し、『屋島活性化に向けた具体的取組』として位置づけ

改正のポイント③

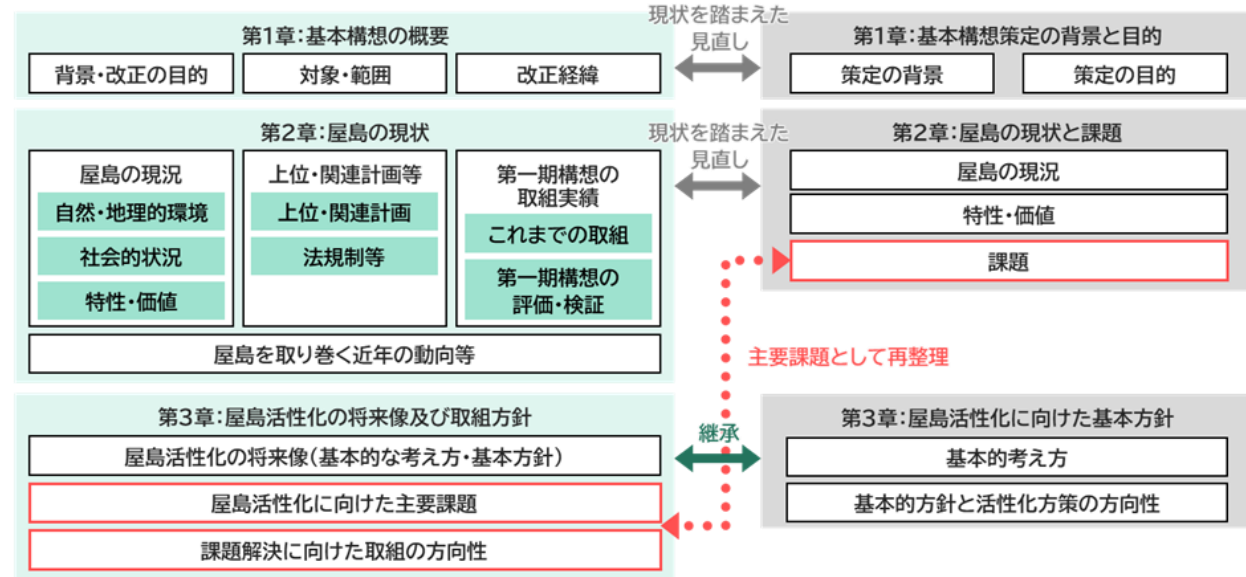
実行力のある組織形成

- 行動プランの実現に向けたステークホルダー間の連携強化を図るため、推進体制の見直しを図る。

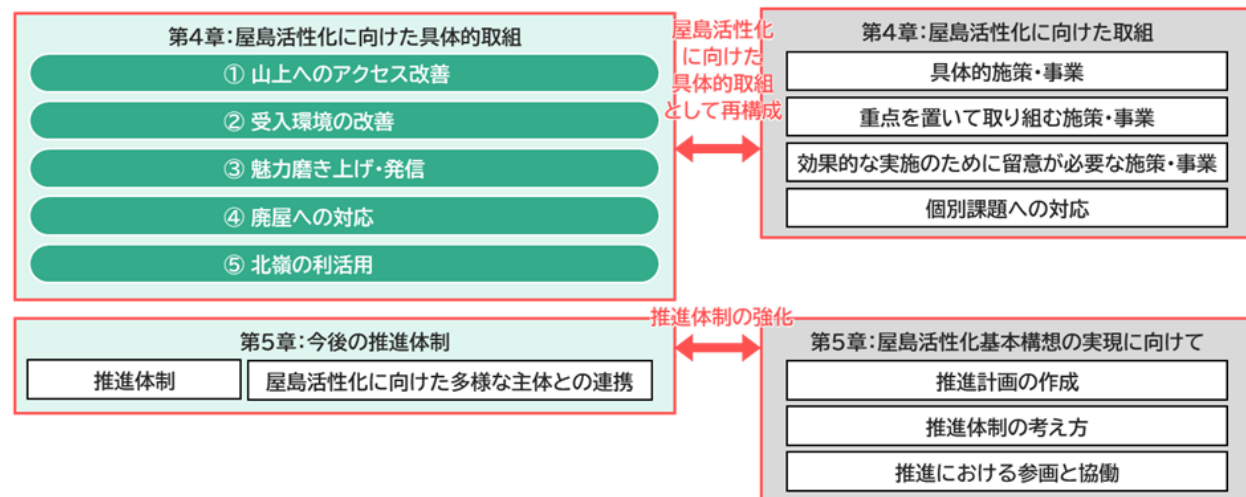
新基本構想

第1期構想(平成25年度)

第1部 屋島活性化基本方針



第2部 屋島活性化に向けた具体的取組



5 本市及び屋島の観光施策を取り巻く近年の動向

屋島の活性化を進めるにあたって、社会経済情勢の変化や多様化する観光ニーズ等を的確に把握し、対応していくことが重要

本市及び屋島の観光施策等を取り巻く近年の動向について、以下 i ~ vi に整理

i 少子・超高齢社会の進行

- ・観光産業や地域観光を支える担い手の減少や高齢化の進行
- ・多様な担い手の参画、連携
- ・高齢化、人口減少の中でも、「選ばれる観光地」づくり

iv ユニバーサルツーリズムへの対応

- ・ユニバーサルツーリズムの推進
- ・誰もが安全に行動できる受入環境の整備
- ・安心して滞在できる観光地づくり

ii インバウンド・観光ニーズの多様化

- ・訪日インバウンド需要の拡大
- ・オーバーツーリズムへの対応
- ・来訪者の関心や価値観に寄り添った体験価値を提供できる観光地づくり

v デジタル社会の構築

- ・観光DXの推進による旅行者の利便性向上及び地域活性化
- ・ターゲット層に応じた情報発信や多言語化対応

iii 脆弱な二次交通インフラへの対応

- ・利用者や担い手の不足により、地域交通の維持が困難
- ・二次交通の脆弱性や観光地間を結ぶ周遊手段の不足
- ・多様な移動手段の確保・整備

vi 自然環境・景観保全

- ・自然環境や景観保全と観光との共生
- ・エコツーリズムの推進
- ・健康志向の高まり

6 基本的な考え方・基本方針

- ▶ 屋島の持続性のある活性化のためには、特性・価値を再発見・新発見・創造する好循環を生み出していくことが重要
- ▶ 屋島の活性化に向けた基本的な考え方及び基本方針は、第一期構想の考え方を継承

基本的な考え方

世界に誇れる高松市のシンボルとなる
屋島として活性化

基本方針ア: 貴重な自然環境や文化財の継続的かつ体系的な調査・研究と保全

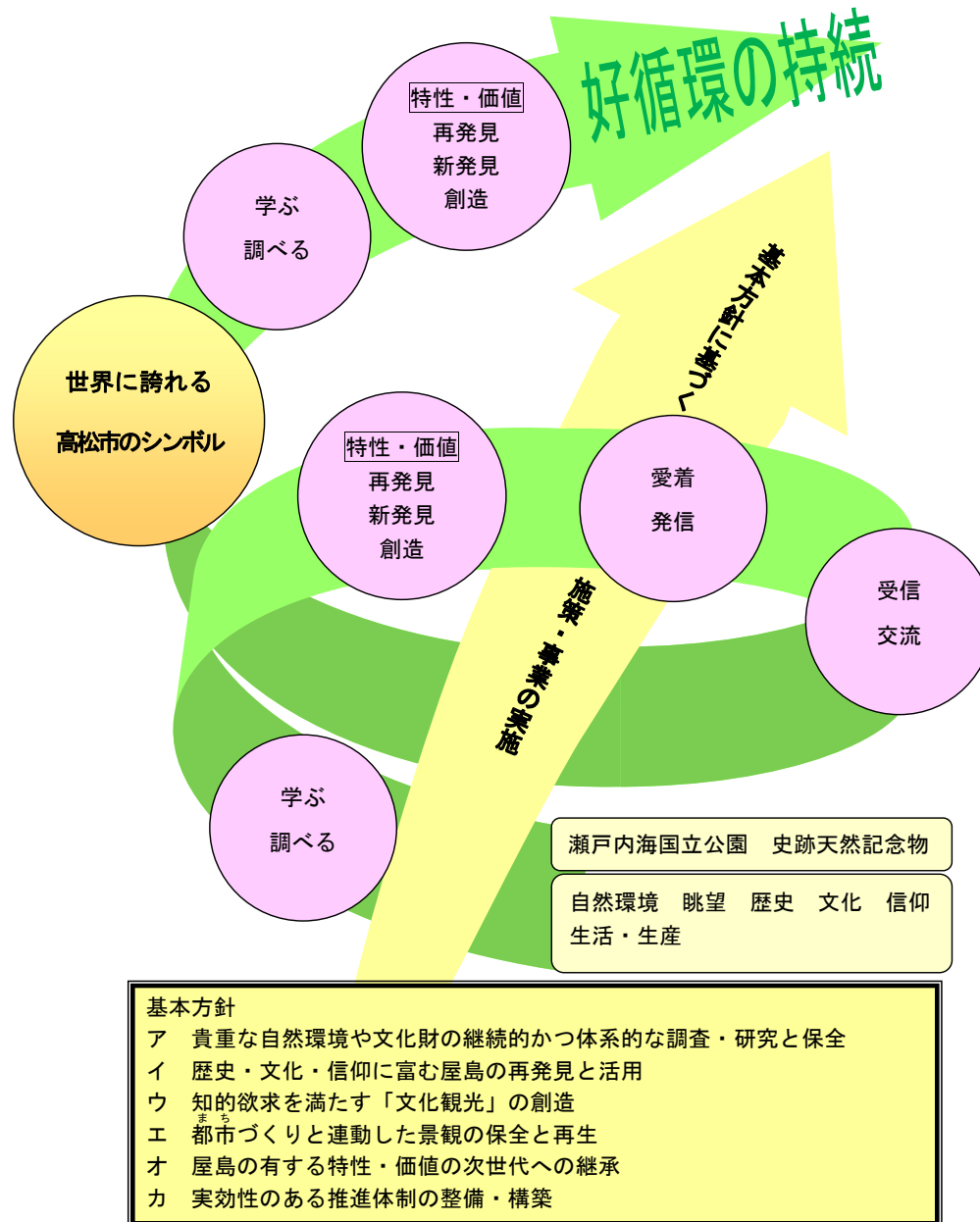
基本方針イ: 歴史・文化・信仰に富む屋島の再発見と活用

基本方針ウ: 知的欲求を満たす「文化観光」の創造

基本方針エ: 都市づくりと連動した景観の保全と再生

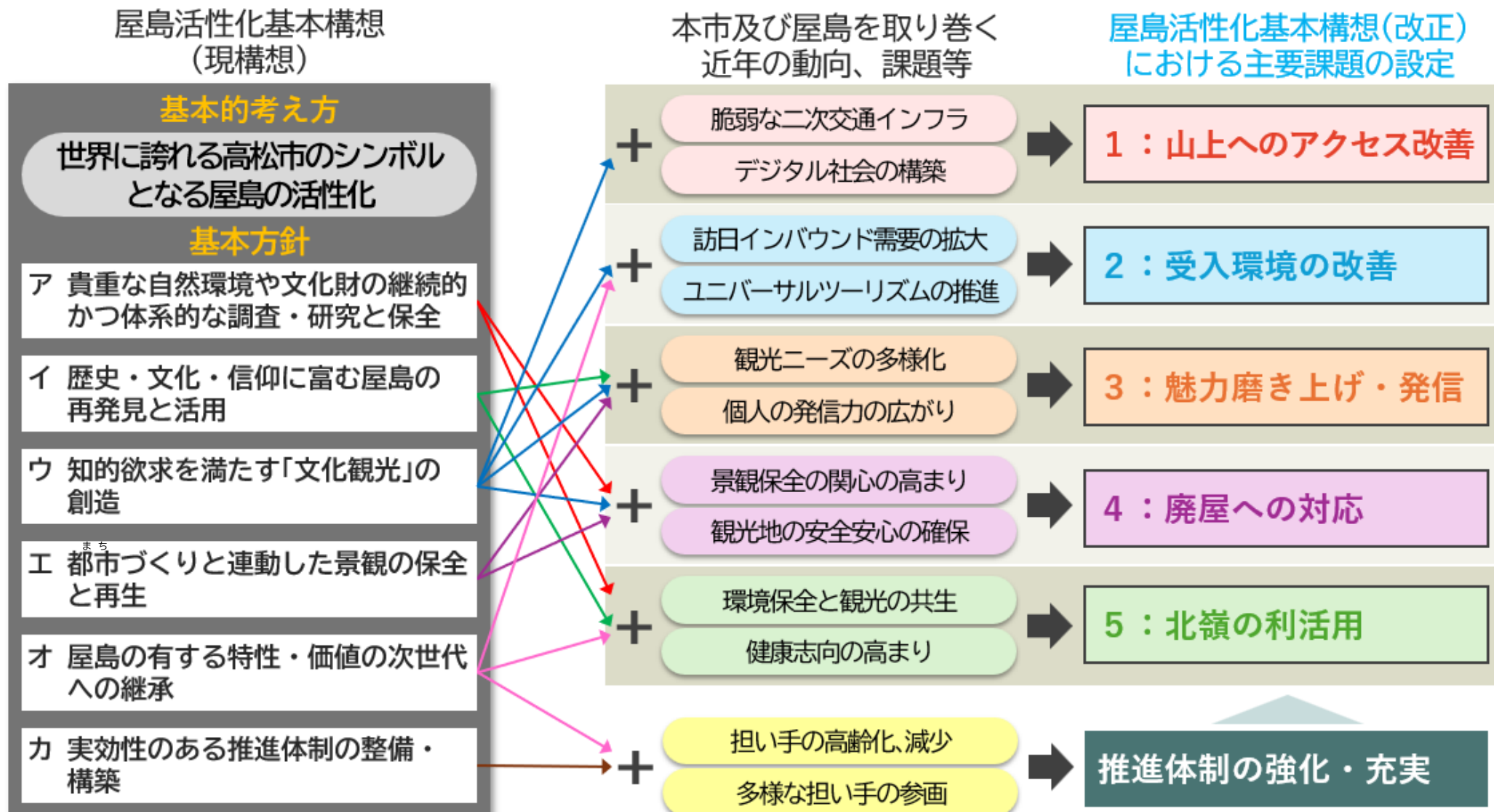
基本方針オ: 屋島の有する特性・価値の次世代への継承

基本方針カ: 実行性のある推進体制の整備・構築



7 屋島活性化に向けた主要課題

6つの基本方針と高松市及び屋島の観光施策を取り巻く近年の動向を踏まえ、屋島の活性化を実現するために対応すべき5つの主要課題として整理



8 課題解決に向けた取組の方向性(案)

(1) 山上へのアクセス改善

現状・問題点

- ・屋島山上へのアクセスの8割が自動車利用
- ・行楽シーズンを中心に屋島スカイウェイの渋滞や山上駐車場不足が常態化
- ・定期シャトルバスを運行しているものの、利用者のニーズに十分応えきれていない 等

課題

- ・来訪者が快適に移動できるようにするため、屋島スカイウェイの渋滞や山上駐車場の混雑緩和を図る必要がある
- ・来訪者の移動ニーズに対応するため、交通手段の多様化や既存の公共交通の利便性の向上を図る必要がある

課題解決の方向性

・駐車場の混雑対策

山上駐車場の混雑緩和に向けて、情報発信や運用面での対策などを講じて、来訪者の行動変容を促し、公共交通と連動した快適な移動環境の実現を図る

・公共交通の利便性の向上

定期シャトルバスの利用促進に向けて、公共交通ネットワークの充実を図り、来訪者の公共交通への利用転換を促す

・二次交通の強化

来訪者の交通手段の多様化、分散等による交通渋滞の緩和を図るため、屋島山麓と山上間の二次交通について検討する

8 課題解決に向けた取組の方向性(案)

(2)受入環境の改善

現状・問題点

- ・訪日観光客を含む多様な来訪者への受入環境は十分に整っていない
- ・便益施設や案内板の老朽化、夜間照明の不足、樹木の手入れが必要
- ・受入環境の質を高めるためのソフト面の整備が不十分

課題

- ・来訪者の安全性や快適性を確保するための基本的なインフラ整備の推進が必要
- ・訪日観光客に対応した多言語化等、受入環境の質を高めるためのソフト面の充実が必要

課題解決の方向性

・ハード面の改善

高齢者や障がいのある方が安心して利用できるよう、施設のバリアフリー化の推進等、インフラ整備・施設整備を図る

・ソフト面の改善

観光案内やパンフレットの多言語対応や観光ガイドの育成等を通じ、誰もが快適に楽しめる受入環境を整える。また、地域住民と連携・協働し、より良い地域づくりに活かすための体制づくりに取り組む

8 課題解決に向けた取組の方向性(案)

(3) 魅力磨き上げ・発信

現状・問題点

- ・地域資源を十分に活用しきれていない
- ・多様な魅力に対して、現在、提供可能な観光コンテンツや訪問先は限定的となっている
- ・屋島の魅力や価値を市民や来訪者に効果的に届けられていない

課題

- ・未活用な資源の掘り起こしや磨き上げが必要
- ・滞在時間・滞在価値の向上に向けて、観光体験の質の向上を図る必要がある
- ・認知度向上や来訪機会につながる効果的な情報発信の充実及び強化が必要

課題解決の方向性

・情報発信・PRの強化

ターゲットに応じたPR戦略を強化することで、市民には愛着を、屋島を訪れたことがない人には認知度向上と来訪意欲を高める情報発信を推進する

・屋島の魅力の磨き上げ

屋嶋城、談古嶺から見る歴史的な風景など、屋島の潜在的な価値を掘り起こし、魅力にさらに磨きをかけることで、ブランド価値の向上と市民の誇りにつながる地域づくりを推進する

・多様な体験を通じた滞在時間・滞在価値の向上

屋島の地形など貴重な自然環境や、夕景・夜景、水族館など、観光資源を更に活かすことで、観光地の質を高め、滞在時間・滞在価値の向上を図る

8 課題解決に向けた取組の方向性(案)

(4) 廃屋への対応

現状・問題点

- ・老朽化した建物や利用されていない施設が点在しており、景観の悪化、安全面、防犯面での悪影響
- ・来訪者の往来が多い南嶺東側エリアにも廃屋が残されており、来訪者の満足度低下や屋島全体の魅力の損失につながる恐れがある

課題

- ・関係者との合意形成を進めながら、段階的に、撤去や適切な管理手法を検討する必要がある
- ・廃屋(跡地)の利活用の可能性を検討する必要がある

課題解決の方向性

・廃屋及び跡地の活用可能性検討

市民や民間事業者等と連携し、保全する廃屋や廃屋跡地の利活用を検討する

・廃屋の撤去

良好な景観や安全で快適な観光地づくりのため、関係者等との合意形成を図り、廃屋の撤去に向けた取組を推進する

8 課題解決に向けた取組の方向性(案)

(5)北嶺の利活用

現状・問題点

- ・北嶺エリアのポテンシャルが十分に活かされておらず、認知度も低い
- ・南嶺エリアや山上駐車場からのアクセスが不便
- ・屋島全体としての魅力発揮や滞在価値の向上につながりにくい要因となっている

課題

- ・屋島全体の回遊性と滞在価値向上に寄与するエリアづくりが必要
- ・北嶺の価値や魅力を適切に伝えるためのコンテンツづくりや情報発信が求められる
- ・南嶺エリアの来訪者を呼び込むため、回遊性の向上を図る必要がある

課題解決の方向性

・北嶺の特性を活かした魅力あるコンテンツの提供

北嶺の優れた自然環境の保全と適切な活用を図るとともに、千間堂跡や遊鶴亭、長崎ノ鼻など、歴史文化を感じられる地域資源を活かした魅力あるコンテンツの創出・提供を図る

・北嶺のアクセス環境の向上

北嶺の特性を踏まえ、誰もが快適に利用できる周遊環境の維持・充実を図るとともに、南嶺からの円滑な誘導や歩道の魅力づくりを進めることで、北嶺のアクセス環境の向上を推進する

9 屋島活性化に向けた具体的取組(案)

屋島活性化に向けた具体的取組については、5つの主要課題に特化した部会を適宜設置し、実行力のある構成メンバーのもとで取り組むべき内容を定め、屋島の活性化を推進する

課題	解決の方向性	具体的取組(案)
山上へのアクセス改善	駐車場の混雑対策	駐車場の混雑対策と連動したパークアンドバスライドの導入
		ダイナミックプライシングの導入に向けた検討
		混雑状況のリアルタイム発信
		駐車場の確保策の検討
	公共交通の利便性の向上	屋島山上シャトルバスの増便及び鉄道との接続強化による利便性向上
		バスルートの最適化
	二次交通の強化	屋島山麓と屋島山上を結ぶ新たな交通手段の導入に向けた検討
遍路道・登山道等の利用促進		

駐車場の混雑対策と連動したパークアンドバスライドの導入

山麓部に臨時または常設のパークアンドライド専用駐車場を整備し、駐車場から公共交通やシャトルバス等へ乗り換えて山上へアクセスする仕組みを導入する。



事例:株式会社石見銀山生活観光研究所

課題	解決の方向性	具体的取組(案)
受入環境の改善	ハード面の改善	バリアフリー化による安全性の向上
		夜間でも安心して歩ける街灯や足元灯による適切な照度確保
		便益施設の整備(ベンチや休憩所、日よけ、トイレ等)
	ソフト面の改善	多言語化対応の推進
		観光マナーの啓発、注意喚起
		観光ガイドの育成とホスピタリティの強化

観光ガイドの育成とホスピタリティの強化

来訪者への質の高い案内とおもてなしを提供するため、ガイド人材の育成とホスピタリティ向上に向けて取り組む。

屋島山上観光ガイド



出典:エクスペリエンス高松

9 屋島活性化に向けた具体的取組(案)

課題	解決の方向性	具体的取組(案)
魅力磨き上げ・発信	情報発信・PRの強化	ターゲットに応じたプロモーション戦略の強化
		広域誘客を目的とした情報発信の強化
		市民等の参画による魅力発信とシビックプライドの醸成
	屋島の魅力の磨き上げ	屋島の歴史文化的価値の見える化
		やしまーるの更なる利活用
		眺望スポットの整備による景観、眺望の質向上
	多様な体験を通じた滞在時間・滞在価値の向上	屋島固有の魅力を活かした現地体験型コンテンツの創出
		夕景・夜景を活かしたコンテンツの創出
		関係施設等と連携した学習・体験型プログラムの拡充

屋島固有の魅力を活かした現地体験型コンテンツの創出

屋島が有する地形や生態系、歴史背景等の特性を活かし、現地ならではの体験型コンテンツを創出する。専門家のガイドによる自然や歴史に関わるプログラム等、来訪者の興味を喚起するテーマの提供による観光価値の一層の向上を図る。



屋島での事例:ジオで屋島を知ろう!!

課題	解決の方向性	具体的取組(案)
廃屋への対応	廃屋及び跡地の活用可能性検討	廃屋の利活用の検討
		廃屋跡地の利活用の検討
	廃屋の撤去	関係者等との合意形成
		体制の構築

廃屋跡地の利活用の検討

地域住民や事業者、関係団体などの多様な主体と連携し、エリア全体の将来像を見据えた廃屋の跡地の利活用に向けた可能性を検討する。



廃屋撤去後の更地に建築された「やしまーる」

9 屋島活性化に向けた具体的取組(案)

課題	解決の方向性	具体的取組(案)
北嶺の利活用	北嶺の特性を活かした魅力あるコンテンツの創出	北嶺の自然や歴史文化を学ぶウォークイベント等の開発
	北嶺のアクセス環境の向上	北嶺の周遊環境の維持・充実
		南嶺と北嶺の回遊性の向上

北嶺の自然や歴史文化を学ぶ ウォークイベント等の開発

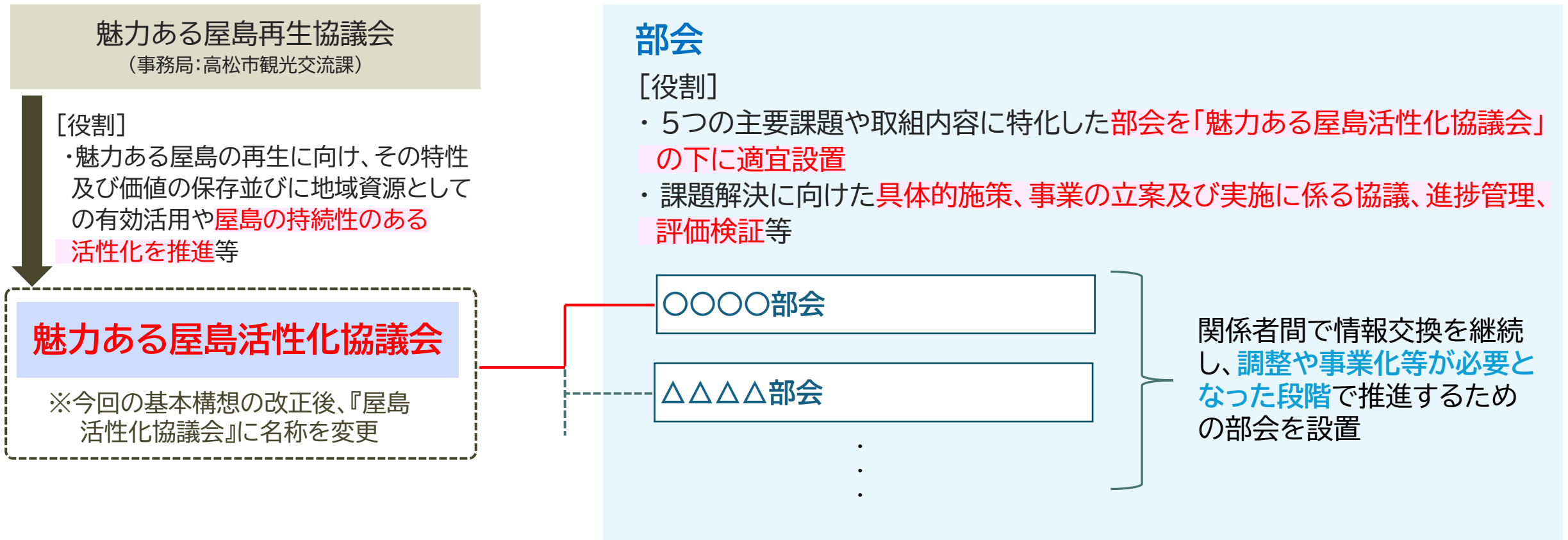
北嶺の豊かな自然環境や多様な文化財や歴史にまつわる逸話等を現地で体感しながら学ぶことができるウォークイベント等を開催し、北嶺及び屋島全体に対する参加者の関心と理解を高め、屋島の価値の再認識と継承につなげる。



遊鶴亭から見た320度の大パノラマ

10 今後の推進体制(案)

具体的取組の着実かつ効果的な実現のため、5つの主要課題に特化した部会を適宜設置する



11 屋島活性化に向けた多様な主体との連携

課題解決に向けた具体的取組を着実に実行するとともに、瀬戸内海国立公園指定100周年と連動した広域連携の展開及び世界への価値や魅力の発信を通じて、世界に誇れる高松市のシンボルとなる屋島の活性化を推進



屋島活性化に向けたロードマップ